



ようこそ、公共建築設備の世界へ

地球周辺執務 “環境” にやさしい 国の建物を
にやさしいと調和した
が快適な

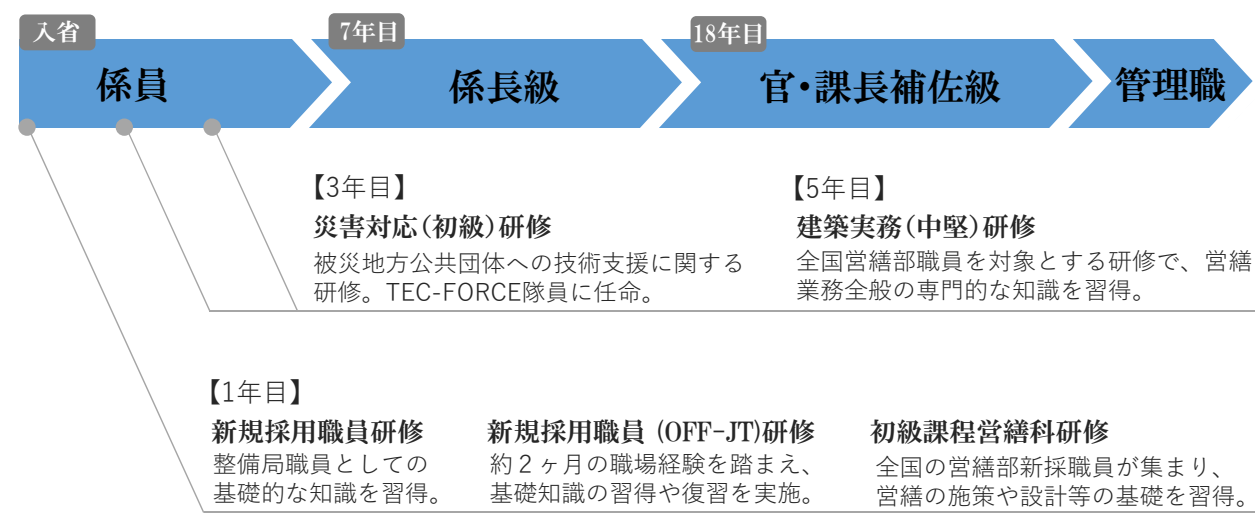


快適な空間
つくる、作る、作る、創る

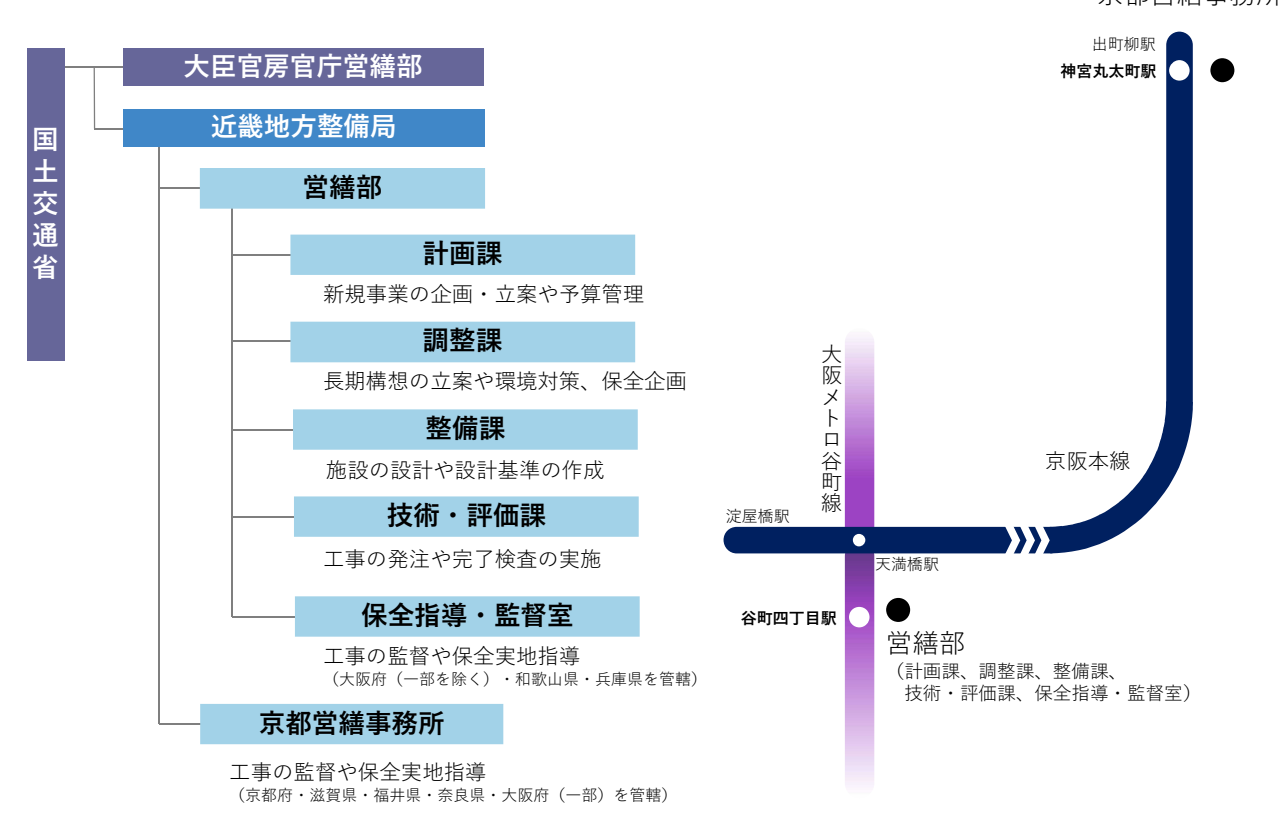
キャリアパス・研修制度

1年目から上司と一緒に担当案件を持ち、**実際の事業を通して仕事の流れを学んでいきます。**
また、整備局全体の研修や、営繕部の研修・勉強会に参加し、基礎的な知識を習得します。

キャリアパスの例



営繕部の組織・勤務先



快適な空間
つくる、作る、作る、創る



建築～電気～



照明計画

心地よい照明空間を設計し、
業務がはかどる空間をつくる

停電対策

災害による停電が起こった時に、
建物に与える電力を作る



これらが「電気」の仕事です



中央監視

建築設備を監視し、
利用者が安心する建物を造る

カーボンニュートラル

未来の地球環境のために、
再生可能エネルギーを創る



つくる
作る
造る、創る

快適な空間

建築～設備～

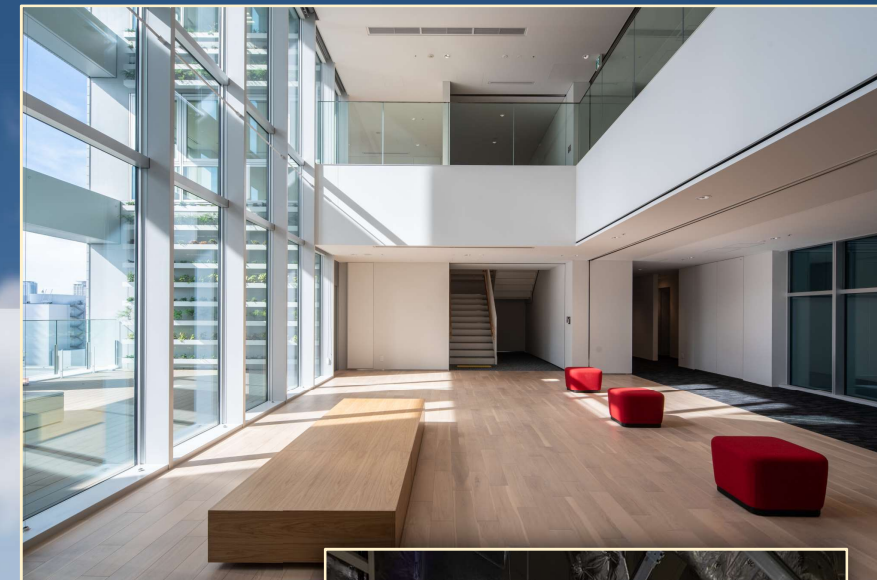
使いやすい建物をつくる

建物のバリアフリー化のためエレベーターや多機能トイレを整備



快適な環境をつくる

利用者にとって快適な空調空間設計



これらが設備の仕事です！

地球環境に優しい建物をつくる

最新の省エネルギー技術を取り込んだ設計
ZEBを目指した整備
雨水再利用で水資源の有効活用

災害に強い建物をつくる

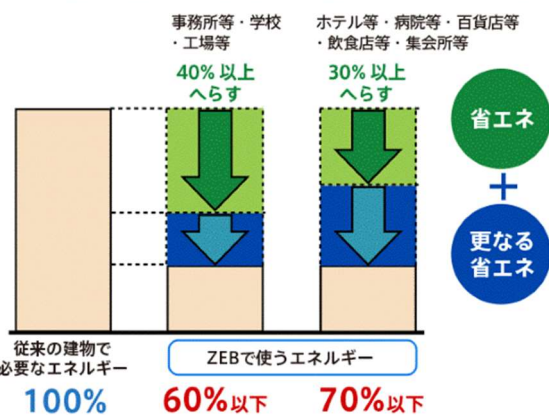
利用者や建物を守るための防災設備の整備



ZEB Oriented (ゼブオリエンテッド)

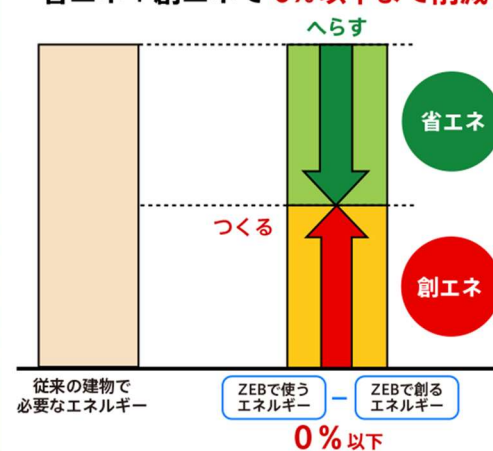
延べ面積が 10,000m² 以上の建物

省エネで用途毎に限定する削減量達成+未評価技術*導入による更なる省エネ



「ZEB」(ゼブ)

省エネ+創エネで 0%以下まで削減



つくる、作る、造る、創る

快適な空間

建築設備職員の役割

建物をつくることは建築だけの仕事ではありません。
「明るさ」「電源」「建物の情報管理」「空気」「水」をつくる建築設備も
必要不可欠な要素となります。
建築のデザイン性と建築設備の快適性が調和した建物をつくることが
我々、近畿地方整備局営繕部建築設備職員の役割です。
建物の企画、設計、積算、完成まで一貫して営繕部で行っています。

企画

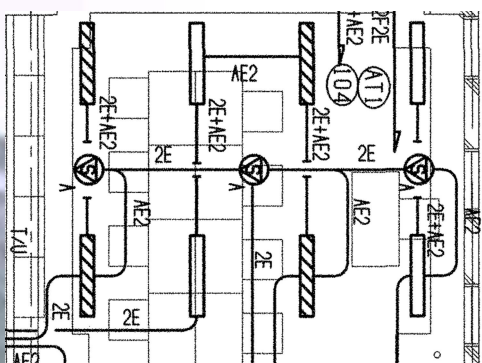
発注条件（市街地、海近辺、建物用途）や施設利用者の「声」を整理し、
建築設備の知識を用いて最適なプランをつくり、設計や施工のための
費用を算出します。

設計・積算

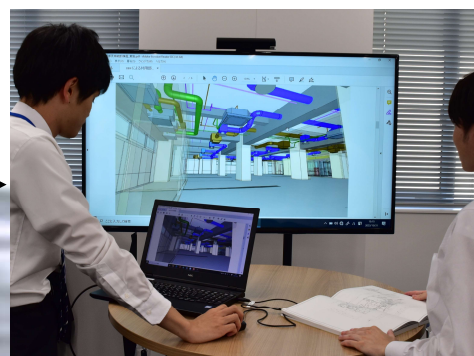
現地調査を行い、省エネルギー性、経済性、利便性を考慮した建築設備を
提案します。その後、設計の基準を基に機器の能力や台数を計算し、建築設備の
図面をつくります。
作成した図面から工事にかかる費用を算出する積算作業を行います。

施工監理

工事の受注者と共に建物をつくります。設計図面通りに施工されているか、
基準を満たす品質が確保されているか現場で監理します。



設計図面



干渉チェック (BIM)



設計図面を基に施工

営繕部の取り組み

ネット・ゼロ・エネルギー・ビル (ZEB)

省エネによって「使うエネルギー」をへらし、
創エネによって「使うエネルギー」をつくることで、エネルギー消費“ゼロ”をつくる。
新築を予定している建物は、すべてZEBを目指す。

カーボンニュートラル

太陽を利用した建物をつくる。
雨水を利用した建物をつくる。
木材を利用した建物をつくる。

建設DX

テレワークやWEB会議を使い、効率的に作業を実施する。
BIMを使い建築、建築設備の図面を3次元化することにより
梁と機器の干渉の確認・建物イメージをつくる。
AI制御を用い、画像センサで人の動きを検知し、
適正な「明るさ」、「空気」、「快適な空間」をつくる。

国土強靱化対策

災害時に利用者の安全を確保し、災害応急活動に必要となる
建築設備の機能が維持できる建物をつくる。

長寿命化計画

企画、設計、施工のプロセスを通して、50年先、100年先を見据えた建物をつくる。

つくる
作る
造る、創る

快適な空間